

アメリカ海軍協会著「リーダーシップ、アメリカ海軍士官候補生読本」第2版

生産性出版 2009年4月20日刊を読む

リーダーシップの概念とは

1. (1)リーダーシップとは、「一人の人間がほかの人間の心からの服従、信頼、尊敬、忠実な協力をえるようなやり方で、人間の思考、計画、行為を指揮できかつそのような榮譽を与えうる<sup>アート</sup>技術、<sup>サイエンス</sup>科学、ないし天分」と定義されよう。
  - (2)これをテキスト全体の定義とするので、よく脳裡に銘記されたい。
  - (3)この定義は、リーダーシップの実践が科学的アプローチの具体化であるという近代的概念を包含し、リーダーシップを生まれながらのリーダーの技術や天分とする狭い考え方に拘束されない。
2. (1)リーダーシップは、人間関係、具体的には一人の人間と集団、リーダーとフォロワーの関係に関する問題である。
  - (2)それは、個人が命令や説得そのほかの手段により、多くの人間を心服させたいと思う一つの意思、きわめて強い動機づけが存在する、いや、しなければならないという前提に立っている。
  - (3)個人の側においては、自分の時間や物質的利益を犠牲にしても、この「<sup>パーソナル・パワー</sup>人格的な力」を達成しようとする積極的意思があることを意味している。
  - (4)また、リーダーシップは海軍士官の職務であり、熟達するには、上司、部下、同僚との日々人間関係に対して地道にリーダーシップの原理を適用し、たえざる研究と実践を重ねていくほかにないことをも意味している。
  - (5)リーダーシップは、リーダーがただフォロワーに責任を課すだけの一方通行なものではなく、リーダー、フォロワー両者間の相互責任である。
  - (6)リーダーには当然フォロワーが存在するので、海軍士官はリーダーとして十分な成果を上げるには、まず第一に、よき「フォロアーシップ」の原理を習得しなければならない。

3 . ( 1 ) フォロワーシップとして習得すべき態度は、簡単には、服従、信頼、尊敬、忠実な協力の四つである。

( 2 ) 海軍のリーダーシップをとるういかなる局面においても、いずれか一つの態度でも欠けていれば、致命的な失敗を招くであろう。

P3 ~ 4

[ コメント ]

リーダーシップとは何かを考える原点の一つは、アメリカ海兵隊。そのテキストは学ぶに値する内容だと考える。

- 2009 年 7 月 22 日林明夫記 -